

ナシ生育初期の赤星病，黒星病に対するE B I剤の合理的使用法

〔要約〕 ナシの生育初期の防除は，発芽直後に保護殺菌剤（デランフロアブル）を散布し，開花終期にE B I剤（アンビルフロアブル）を散布することによって，赤星病及び黒星病の同時防除が可能であり，両病害の発生を約1か月間抑制できる。

長崎県果樹試験場・病害虫科	専 門	作物病害	対 象	果 樹 類	分 類	指 導
---------------	-----	------	-----	-------	-----	-----

平成 9年度長崎県果樹試験場業務報告

平成 9年度九州病害虫防除推進協議会 防除法確定連絡試験成績（果樹編）

〔背景・ねらい〕

ナシの生育初期での病害防除では，黒星病と赤星病が主な防除の対象となるが，これら病害に対する防除に最も適した散布時期及び散布間隔を検討する。

〔成果の内容・特徴〕

- ①赤星病に対して最も防除効果が高い散布時期は，アンビルフロアブル及びデランフロアブルとも4月中旬散布（開花終期）である。アンビルフロアブルは本病に対して治療効果が高いものの，予防効果は低い。また，デランフロアブルは予防効果はあるが，治療効果は認められない。
- ②黒星病に対して最も防除効果が高い散布時期は，アンビルフロアブルでは4月中旬散布（開花終期）で，デランフロアブルでは，発芽直後散布である。アンビルフロアブルは本病に対して予防及び治療効果が認められるが，デランフロアブルは予防効果はあるが，治療効果は認められない。
- ③以上のことから，ナシの生育初期の防除は，発芽直後にデランフロアブルなど保護殺菌剤を散布し，開花終期にアンビルフロアブルなどE B I剤を散布することによって，赤星病及び黒星病の同時防除が可能であり，赤星病の発生を約2か月間，黒星病を約1か月間抑制できる。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①赤星病及び黒星病に登録のある薬剤について，ナシの発芽直後に保護殺菌剤を使用し，開花～落弁期にE B I剤を散布することによって，両病害の発生を長期間抑えることは，散布回数の低減と省力化を図ることができる。
- ②開花盛期（特に，満開期）に散布すると，受粉が阻害され結実不良になりやすい。
- ③降雨や薬剤の残効から3回目の散布は，2回目の散布20日後頃に黒星病主体の薬剤を散布する方が望ましい。

[具体的データ]

表1 ナシ赤星病・黒星病に対するアンピルフロアブル及びデランフロアブルの防除効果

試 験 区 [*]	調査葉数 (葉)	調査日	赤星病				黒星病	
			橙黄色の病斑		毛状体		発病 葉率 (%)	発病 果梗率 (%)
			発病葉率 (%)	発病度	発病果率 (%)	発病度		
アンピルフロアブル								
(1) 発芽直後散布 (3月28日)	100	4/28	52.9	15.8	0	0	5.9	5.8
		5/20	54.7	14.3	40.1	15.4	8.0	6.7
		6/11	57.2	14.3	50.7	33.3	18.3	13.6
(2) 4月中旬散布 (4月11日)	100	4/28	0	0	0	0	0.3	0
		5/20	0.3	0.1	0	0	0.7	0
		6/11	0.6	0.1	0.3	0.2	5.7	0
(3) 4月下旬散布 (4月24日)	100	4/28	67.5	33.0	0	0	5.4	0
		5/20	20.1	4.8	0	0	2.3	0
		6/11	4.9	1.0	1.0	0.2	3.5	0
(4) 5月上旬散布 (5月1日)	100	4/28	68.2	28.6	0	0	2.3	0
		5/20	52.2	15.2	0	0	2.3	0
		6/11	23.7	7.3	10.7	2.9	2.5	37.5
デランフロアブル								
(1) 発芽直後散布 (3月28日)	100	4/28	22.2	6.0	0	0	2.4	0
		5/20	60.3	15.6	41.2	14.9	2.9	3.0
		6/11	40.1	12.4	39.9	28.6	27.9	33.3
(2) 4月中旬散布 (4月11日)	100	4/28	0	0	0	0	3.2	0
		5/20	2.0	0.4	0	0	2.9	0
		6/11	2.4	0.5	1.0	1.0	14.9	14.3
(3) 4月下旬散布 (4月24日)	100	4/28	63.2	22.6	0	0	11.1	17.6
		5/20	72.1	32.3	54.9	22.4	8.7	6.3
		6/11	71.0	33.6	73.8	64.7	12.6	25.0
(4) 5月上旬散布 (5月1日)	100	4/28	57.9	21.3	0	0	8.9	4.3
		5/20	75.5	32.9	60.3	22.1	4.3	0
		6/11	77.6	43.1	77.6	68.7	4.8	6.7
(5) 無 散 布	100	4/28	59.6	22.3	0	0	12.0	22.2
		5/20	67.0	21.2	44.2	20.6	10.4	0
		6/11	65.7	23.3	60.8	47.8	23.3	40.0

* 各供試薬剤を指定した時期に 1回散布した。

[その他]

研究課題名：落葉果樹の重要病害虫防除法

予算区分：委託

研究期間：平成 9年（昭和59年～）

研究担当者：古賀敬一，西野敏勝

既発表論文等：平成 9年度 長崎県果樹試験場業務報告

平成 9年度九州病害虫防除推進協議会 防除法確定連絡試験成績（果樹編）